

鳥取県 自転車+まちづくりセミナー サイクリングを使ったまちづくりを考えよう



株式会社アーチ・ヒーロー北海道
代表取締役社長 高橋 幸博

◆高橋 幸博 / 株式会社アーチ・ヒーロー北海道 代表取締役
サイクリングツアー・スキーツアーコンシェルジュ

- 北海道ニセコ地区(倶知安町)在住。北海道美唄市(びばい)出身
- ・国土交通省 ナショナルサイクルルート選考委員
 - ・国土交通省自転車活用推進本部 令和3年自転車活用推進功績者
 - ・鳥取県商工会連合会西部地域産業センター大山時間プロデューサー
 - ・CSIA(カナダ)プロスキーコーチ、フリースタイルスキーコーチ
 - ・台湾(FLCA)、タイ(TCC) サイクリングツアーガイド
 - ・経済産業省 地域しまんづくりプロジェクト北海道地区プロデューサー

大学で都市計画、道路計画を専攻。地元、北海道美唄市役所にて土木技術職として従事。退職後、海外20カ国で主に都市、農村デザイン、スキーリゾートを見回る旅を実施。測量・土木設計コンサル事業に従事。

ニセコ地区のスキー場がオーストラリア資本により買収されたのを機に倶知安へ移住。夏はカヌーガイド、冬は英語でスキーを教えるという夏冬の季節に応じたガイドングを研鑽。海外で行われたインバウンドスキープロモーションでは北海道の代表としてセールス。オーストラリア資本のスキーツアーエージェント勤務。オーストラリア、カナダでのマネージメントに携わり、日本法人立ち上げに関わる。その後、独立起業。ガイド事業を立ち上げ、株式会社法人化。夏季社員5名。冬季社員30名。

インバウンド、観光コンテンツづくり、受け入れ商品づくりの知見をいかして、観光庁VJ地方連携事業、経産省のちいきのしまんづくりプロジェクトの北海道担当プロデューサーとして地域振興、観光商品づくりに関わる。

サイクルガイド事業者と北海道サイクルツーリズム推進協会を設立。難しい産官学民としての事業プロデュース、理念作り、交流事業を推進中。



北海道でのガイドング(スキー、サイクリング)

元土木技術職地方公務員
設計コンサル →
インバウンドコンシェルジュ

世界の観光地を巡る
スキーリゾート、美術館
ライフスタイルを研究

ニセコの海外スキー客の対応
サイクルツーリズムでの
ブランディング

新たな事業プラットフォームの
プロデュース

当社と全国のサイクルツーリズム事業 まちづくり事業に関わっています

- 1) 滋賀プラス・サイクル推進協議会ツーリズムWG
ビワイチ・ナショナルサイクルルート1周年の取り組み
- 2) 愛媛県自転車新文化推進協議会
しまなみ海道の新たなビジョン、「Local to Locals」の概念と事業のアドバイス
- 3) 鳥取県 鳥取うみなみサイクルルート推進協議会、鳥取県商工会連合会西部地域支援センター
ナショナルサイクルルート指定を目指した官民連携協議会のアドバイザー、サイクリストの聖地化事業担当
- 4) 岩手県葛巻町 くずまき型サイクルツーリズム
くずまきサイクルツーリズム推進協会(KCTA)の活動理念作り、事業アドバイス
- 5) 福井県若狭湾サイクルルート推進協議会
国土交通省ナショナルサイクルルート指定を目指した官民連携協議会のアドバイザー、事業担当
- 6) 熊本県阿蘇・サイクリング拠点「道の駅阿蘇」の取り組み
阿蘇サイクルツーリズム学校 コギダス 牧野サイクリングガイド育成
- 7) 長野県茅野市、富士見町、原村
ハヶ岳アドベンチャーーツアーズ、競輪選手のキャリアデザイン
- 8) 北海道ニセコ地区での自転車とスキーを活用したコンテンツ増生、PR、ガイド受け入れのとりくみ
UCI NISEKO CLASSIC、滞在型・周遊型理念発信とインバウンドサイクリングツアーの実践=HERO HOKKAIDO



観光とまちづくりによる地域活性 →

With コロナと体験観光
再開の為の**新概念**

Local to Locals

地方と地方が都市やマスマーケットを介さず、安全に配慮した地方の磨き上げを行う
それぞれの地方の価値、強みを相互に理解し、
ハイレベルのブランドを創出する

Community

目的やライフスタイルが同じ方々を部会化する
地方の同士で交流するベースをプラットフォーム化
今は個が強く、それぞれが弱い

繋がること＝安心＝自信作り＝Luxury marketへ繋げることが可能

Communication

新しい概念で**着地型体験観光商品**を作る
意見交換する事により強み、弱みの理解を促す
役割と目的を明確化した**プロジェクト**を起こす

地域内コミュニケーション→地域外コミュニケーション
地方の時間と価値を共有する為の
グローバル・コミュニケーションの舞台へ

鳥取うみなみサイクル
ルート進協議会
事業でできます！

しまなみ海道
ビワイチ
NISEKOと
お客様を共有

昨日、今日道路の視察をしてきました

国土交通省が指定するナショナルサイクルルート
の指定の為、審査員の2人が道路、観光協議会事務局
の皆さんと意見交換しました。

鳥取県庁と自治体の観光、商工会等による
「自転車を活用した稼ぐ地域にする為のプロジェクト」

ここまで、行政、観光協会、商工会などが取り組む





鳥取と岡山の県境にて

ナショナルサイクルルート 指定の意味がわかりましたか？



「鳥取うみなみロード推進協議会」

＜受入地のミッション:オペレーション＞

「自転車を受け入れるまちづくり+ライフスタイル+デザイン」
のまちづくり、道路、観光、安全、教育の事業～地域力向上

＜ナショナルサイクルルートの魅力発信:マーケティング＞

地域内での観光、ブランド発信、キャンペーン、フォローアップ

＜ どんどんと繋がり発信し、受け入れる事業＞

稼ぐ事業、売る、案内するプロを育てる、地域課題解決

鳥取県商工会
と
大山山麓・日野川
流域観光協議会
の
観光受け入れ事業
が鳥取県全体の
事業に拡大





自転車活用推進計画から(令和3年5月)

(観光地域づくり)

高度に育成されたガイドが里山を丁寧に案内するサイクリング ツアーが外国人観光客から高く評価される等、訪日外国人旅行者のニーズが、「モノ消費」から体験型観光の「コト消費」へ変化しており、滞在コンテンツの充実が求められてきた。一方、訪日外国人旅行者は、東京~大阪間のいわゆるゴールデンルートに集中しており、インバウンド効果を全国へ拡大することが重要な課題となっていた。

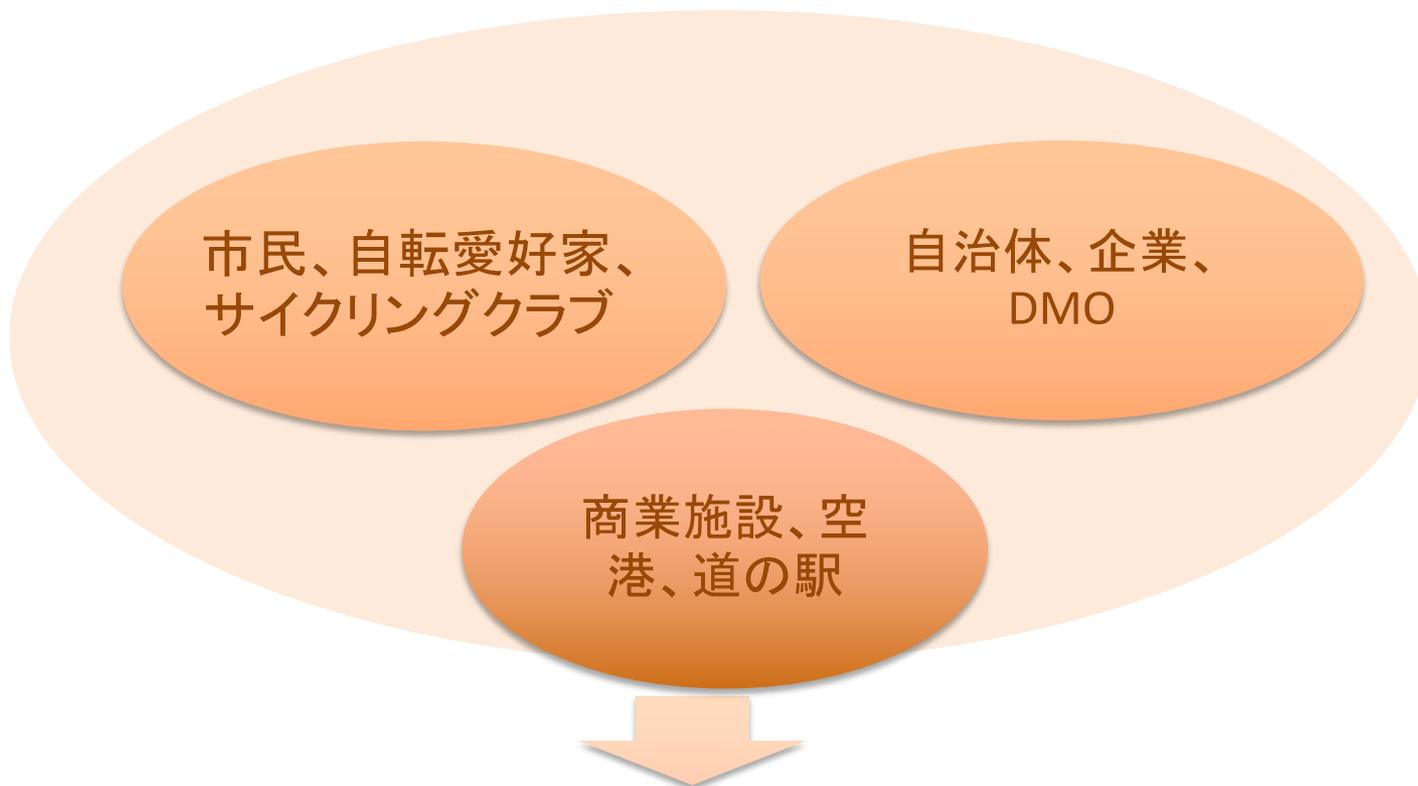
新型コロナウイルス感染症は観光地域づくりにも大きな影響を 及ぼし、サイクルツーリズムについても、特にインバウンドは厳しい状況となっている。インバウンドの需要回復を見据え、自転車を活用した観光地域づくりは有望であるが、一方で、サイクリストの走行ニーズが高い地域において、サイクリストの受入環境や走行環境が必ずしも十分整っていない等、サイクリング環境の整備が課題となっている。

また、特に国内観光については、サイクルツーリズムが地域経済に与える効果として、日帰りであった場合の現地における消費額は小さいため、宿泊を伴う滞在に導く必要がある。



既存の事業との連携で、地方の魅力発信を加速させる。

サイクルツーリズムで価値の再認識と、既存の事業との連携を促進。



地域住民と既存の事業が
共有できるプロジェクトにすること

地方で推進する際のサイクルツーリズム事業のコンセプト

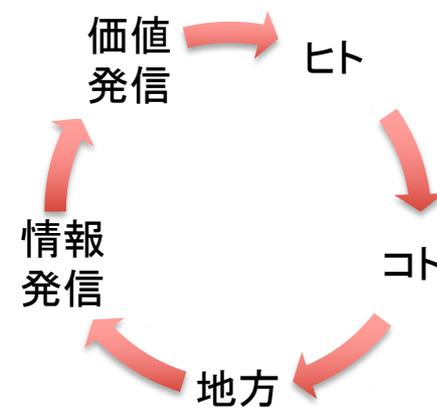
地元の自転車愛好家とサイクリングツアーを通じた理念共有と人材育成型の事業アレンジ

サイクルツーリズムの強みを生かす。

地方の様々な魅力を発信。内外のサイクリストと関係したすべての人が交流し、地方の素晴らしい雄大な景色や豊かな食文化をベースに「自転車とライフスタイルの時間」を共有することを目的とする。

⇒ 自転車では組めないモノ、コトはありません。

自転車を活用して積極的に5つポイントを実施します



1. 地元の人に着目します (地元クラブ、地元のプロジェクトとコラボ)
2. コトを作ります (商業施設、インフラとコラボ)
3. 地方で実施します (国、北海道、地方自治体、団体、事業者とコラボ)
4. 情報を発信します (世界、関東、関西、事業者、地域管内へ発信)
5. 価値を共有します (食、農業、ライフスタイル、暮らし、商品ブランド)

With コロナ時代のツーリズム

新型コロナウイルスの感染拡大

渡航中止勧告、入国制限措置(現在)



観光業界の危機

サステナブルツーリズムの危機



滞在時間向上と
付加価値発信
滞在観光商品造成

単価の見直し
2泊以上の行程
地域経済へ寄与

安全で価値ある時間の創出のニーズ拡大
お一人様、1家族様の滞在方法と時間演出の見直し

まちづくりの3要素は3つのWARE(入れ物)に置き換えれます

HARDWARE

まちに絡まるエッジデザイン／1階の開放性／人とモノと想いがからまるデザイン／内外のあいまいな境界／人が手を加えなくなる補助線のデザイン／簡易な空間可変性／フォトジェニック／感動する居心地

SOFTWARE

パブリックマインドの高いプログラム／ターゲット：0～100歳のおまねく人々／小さい”やりたい”へのサポート／心地良いテリトリーの獲得／常に変わり続けるプログラム、サービス、メニュー、イベント

ORGWARE

おまねく人々を受け容れるコミュニケーション力／最小限で継続できる運営／許可ではない全力の応援／すばやい実行／ゼロマニュアル／原価計算の前に能動性／

それぞれ3つのWAREが、互いを受け容れながら、
有機的に変容し続けるような状態。

そこに身を投じると、人は能動的であり続けることができます。

「能動」的な状態が、人間が人間たる所以だから、
“小さなやりたい”の実現が、幸福と健康の基礎だから。

●リピーターと投資家を獲得する為に

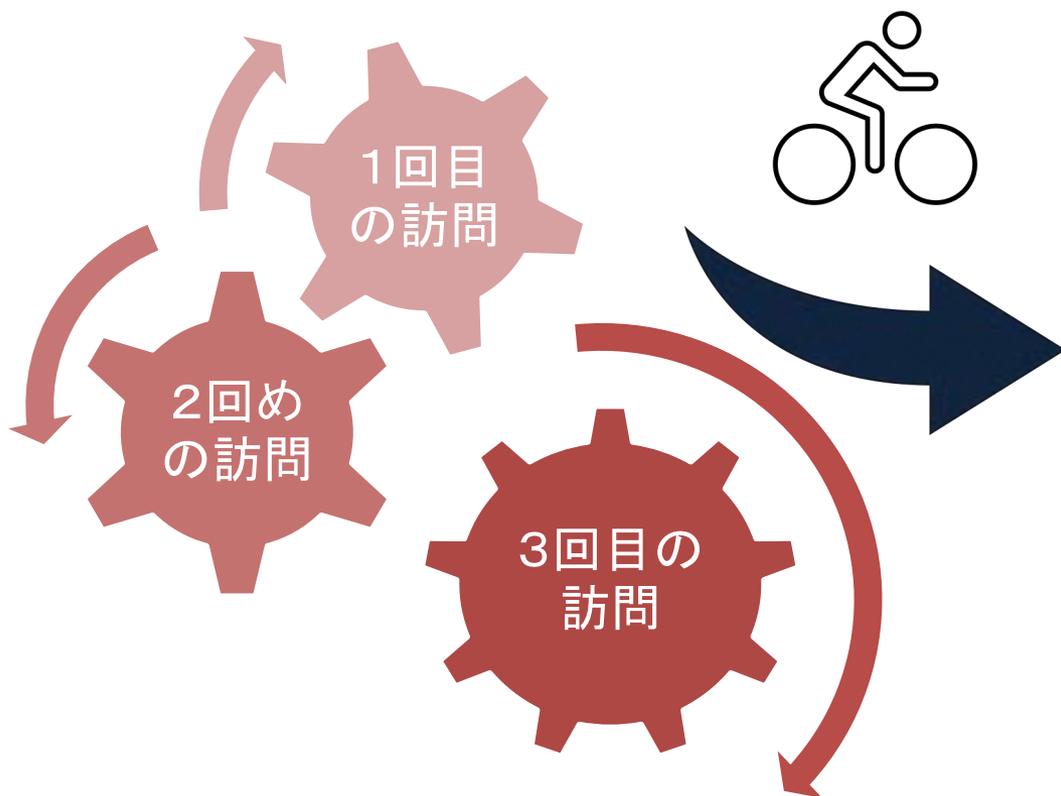
観光訪問決定からのアクション(ATによる人の動きからの利益共有の連鎖作り)

行く

滞在する

体験する

商品購入



- ・お客さまのメリット
- ・旅行会社のメリット
- ・地域のメリット
- ・事業投資家のメリット
- ・移住者のメリット
- ・地域住民のメリット

10年後に何をしているか・・・？

「連携」をどのようにしているか？

お客さんは投資家になる。

観光客から投資家の獲得へ
その挑戦と自信作りを！

地域の事業者と世界の投資家、
グローバル、ローカル事業プロデューサーからメッセージ



自転車の利活用で様々な地方経済課題クリアが可能
健康の為にも自転車に乗る時間を増やし、安全に乗
れる環境をもっと増やしていきましょう。

「鳥取うみなみロード推進事業」

まちづくり、道路、地域経済、教育・・・
全てに関わるプロジェクトです。

私達はこの機を逃さず、ターゲットを見定め、
地域に配慮しながら、進化すべきです。
新しい概念を示し、皆さん一緒に魅力ある街にしていきたいと思います。

Local to Locals

株式会社アーチ・ヒーロー北海道
高橋 幸博
Yukihiro Takahashi